

SEAJ

度数率・強度率集計報告

(2019年1月～12月まとめ)

安全専門委員会

2020.6.30

SEAJ度数率、強度率調査統計

定義：厚生労働省労働災害動向調査に準ずる

- 度数率：労働災害の頻度を表す
 - 100万延べ実労働時間当たりの労働災害による死傷者数
- 強度率：災害の重さを表す
 - 1,000延べ実労働時間当たりの延べ労働損失日数

対象

- SEAJ会員企業日本国内事業所勤務社員
 - 海外現地法人社員は含まず

目的

- SEAJ安全活動の指標を作る

メリット

- 半導体装置業界の安全のレベルがわかる
- 業界平均と比較して会員各社の安全レベルがわかる
- データ分析し事故低減に役立てることができる

安全専門委員会コメント

2019年度 総括

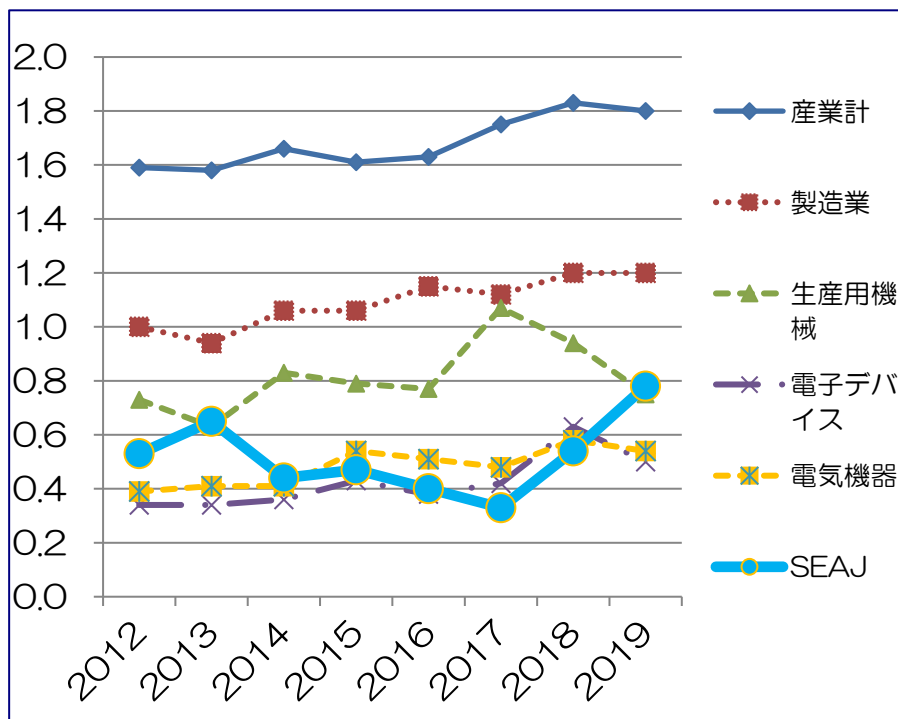
2019年度は、2018年度と比較して、度数率は若干高まっており、強度率は横這いになっている。各社、生産増に伴い、災害発生件数は増加しているが、重篤な災害は増加していないと推察する。

フィールドについては、度数率が若干高まっているが、安定的に低い水準を維持しており、SEAJ推奨安全教育の効果が見える。

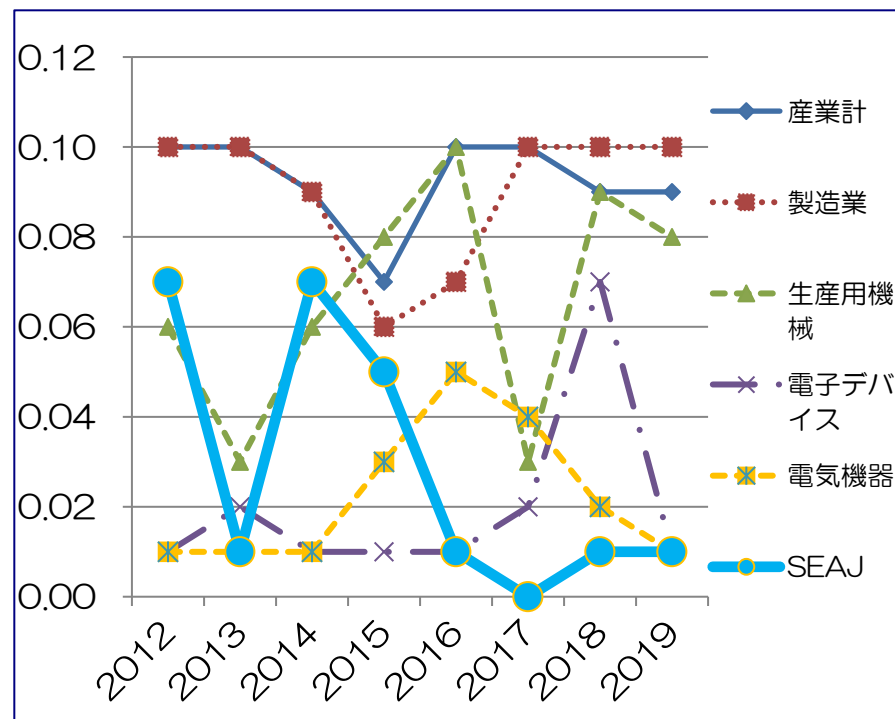
SEAJ調査協力企業度数率・強度率集計結果

抽出条件：自社事務所、工場、営業における
労働災害発生率
 調査協力企業36社

度数率



強度率

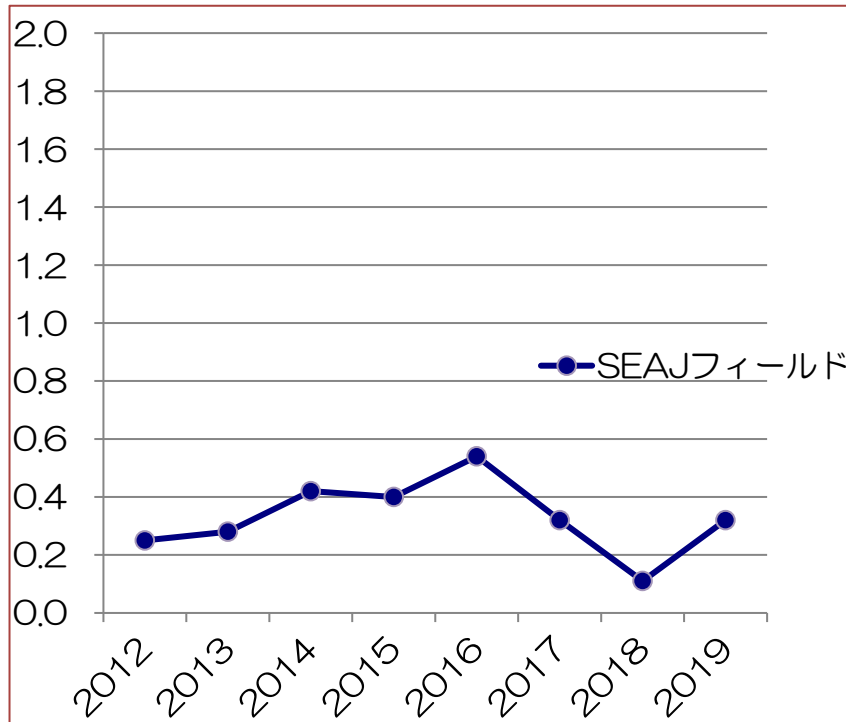


SEAJ調査協力企業度数率・強度率集計結果

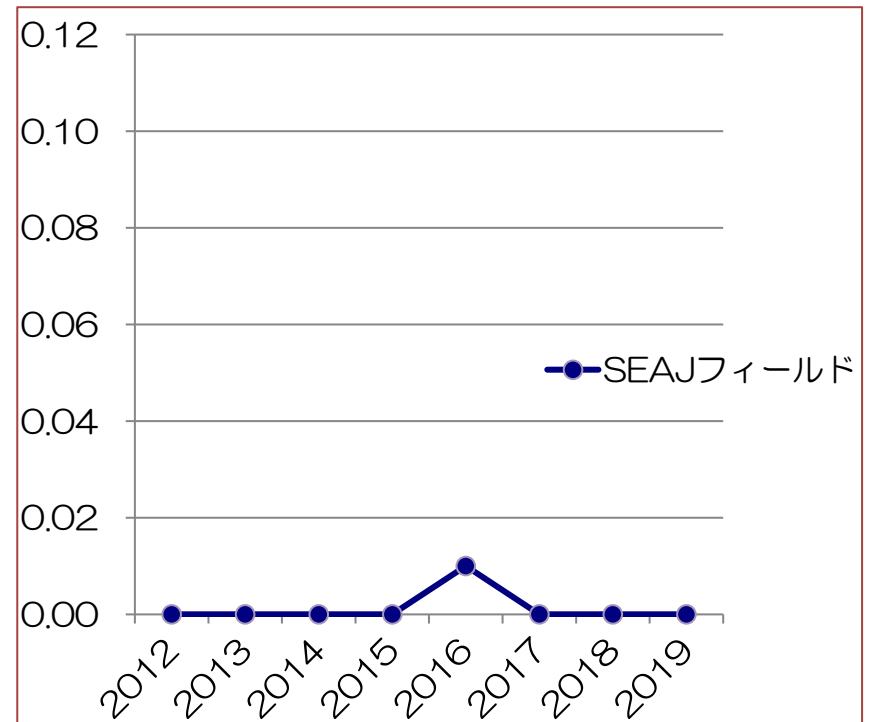
抽出条件：顧客先作業（フィールド）における労働災害発生率
（自社工場における事故発生は含まず）

調査協力企業6社

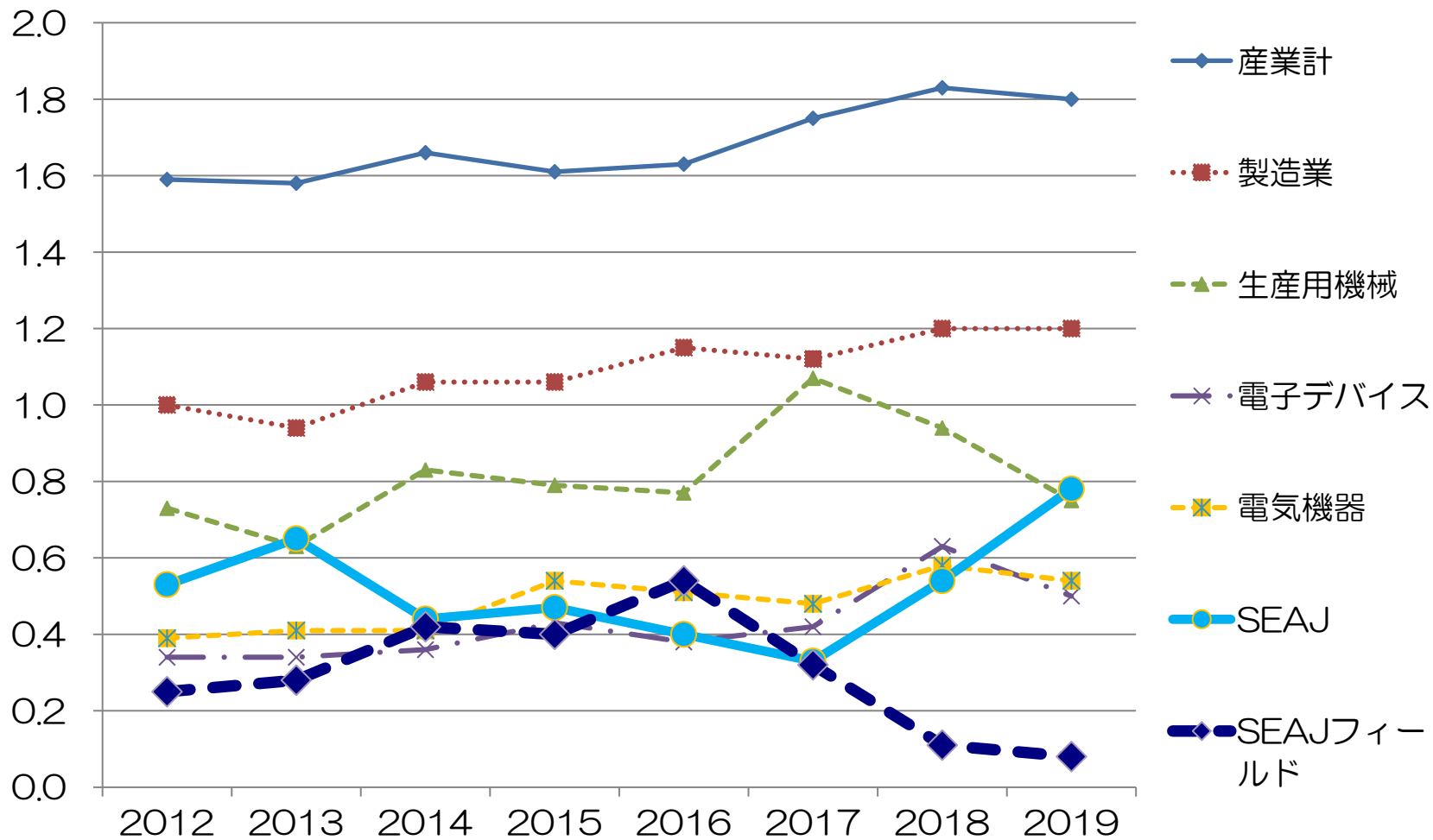
SEAJフィールド度数率



SEAJフィールド強度率



SEAJ調査協力企業 フィールド度数率分析結果



SEAJ調査協力企業 フィールド強度率分析結果

